

# 大きな問題の解決方法

1. 大きな問題とは？ p.2
  2. 準備 p.3-5
  3. 例1: 生きる構造変更の現状 p.6-10
  4. 例1: 生きる構造変更の課題 p.11
  5. 例2: 人工知能を作ること p.12
- 謝辞 p.12

高原 利生 2017.03

ugg21948@outlook.com takahara-t@m.ieice.org  
[http://www.geocities.jp/takahara\\_t\\_ieice/](http://www.geocities.jp/takahara_t_ieice/)

# 1. 大きな問題とは？

## 定義

本稿の対象

・「**小さな問題**」: 解決に既存の一思考の一部を一回修正するだけでよい一時的問題----解決策は提案されている

・「**大きな問題**」: 既存の複数の思考の多くを変更し続ける必要がある永続的問題

## 2. 準備1: 三つの基本概念

概念	説明
オブジェクト	ある粒度で事実から知覚により切り取られ表現できる情報 =もの, 観念, その関係, それらの属性
粒度	空間的範囲、時間的範囲、選択属性
網羅	「抜け」の無いように全体を個々の要素で数え上げること

この三つからゼロベースで全ての論理を再構築  
オブジェクト、粒度、網羅は同時決定の必要な両立矛盾  
論理を成立させる粒と粒の内容を決めるのが粒度

## 2. 準備2: 根源的網羅思考と矛盾

根源的網羅思考は、オブジェクトの粒度を網羅的に扱う仮説設定

矛盾: オブジェクトの運動(関係)の構造。世界の最小の近似単位。運動させるのはエネルギー

矛盾	説明
差異解消矛盾	通常の変化、変更.
両立矛盾	通常のもう一つの矛盾。二項を一時的に両立 例: エンジンの大出力と軽量:機能と構造
(特別な) 両立矛盾: 一体型矛盾	二項がお互いを高め合い続ける両立矛盾 例: 機能と構造, 内容と形式, 一体化と対象化, 愛と自由

## 2. 準備3: 発展し続ける運動は**一体型矛盾**

生命の歴史の中で、もともと一つだったものが分かれていく。

### 1. 二つの運動オブジェクトに 対象化と一体化

はじめは、対象化と一体化にはズレがあった。八千年前の農業革命のエネルギーと自然の対象化。二千年遅れて物々交換と所有(対象の自分への一体化)、二千年遅れて自然と神への一体化(自分の対象への一体化)

### 2.(その下位矛盾) 存在オブジェクトとその運動オブジェクトに

例: 機能と構造(生物進化論。生産力と生産構造)

### 3.(その下位矛盾) 二つの客観オブジェクトに 例: 男と女 3の扱いはまだよく分からない

分かれた二項は独自の発展を始める。二分の弊害解決のため、お互いが入れ子に成り合えば、二項の両立矛盾は、お互いを発展させ合う**一体型矛盾**に変わる。

### 3. 例1: 生きる構造の運用: 仮説設定Abduction

人類が生きてるとは、事実を認識し続け、

目的(価値)と手段の仮説を立て、手段の課題を解決すること、その仮説を検証すること、新しい目的(価値)と手段の仮説を作ること、根源的網羅と矛盾によってそれを続けること。[FIT2016]

価値は、三段階 1. 生命、人類の存続、2. 個体の生、3.

1) 対象化; 自分のオブジェクト変更力大(自由)、

2) 一体化; 自分と相手や他オブジェクトの同時価値増(愛)

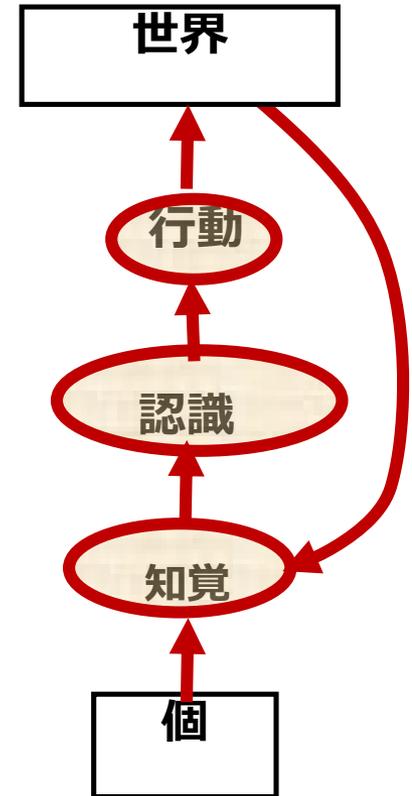
### 3. 例1: 生きる構造の現状概要

1. 動物の生きる構造 遺伝子を除く



2. 根源的網羅思考と矛盾による

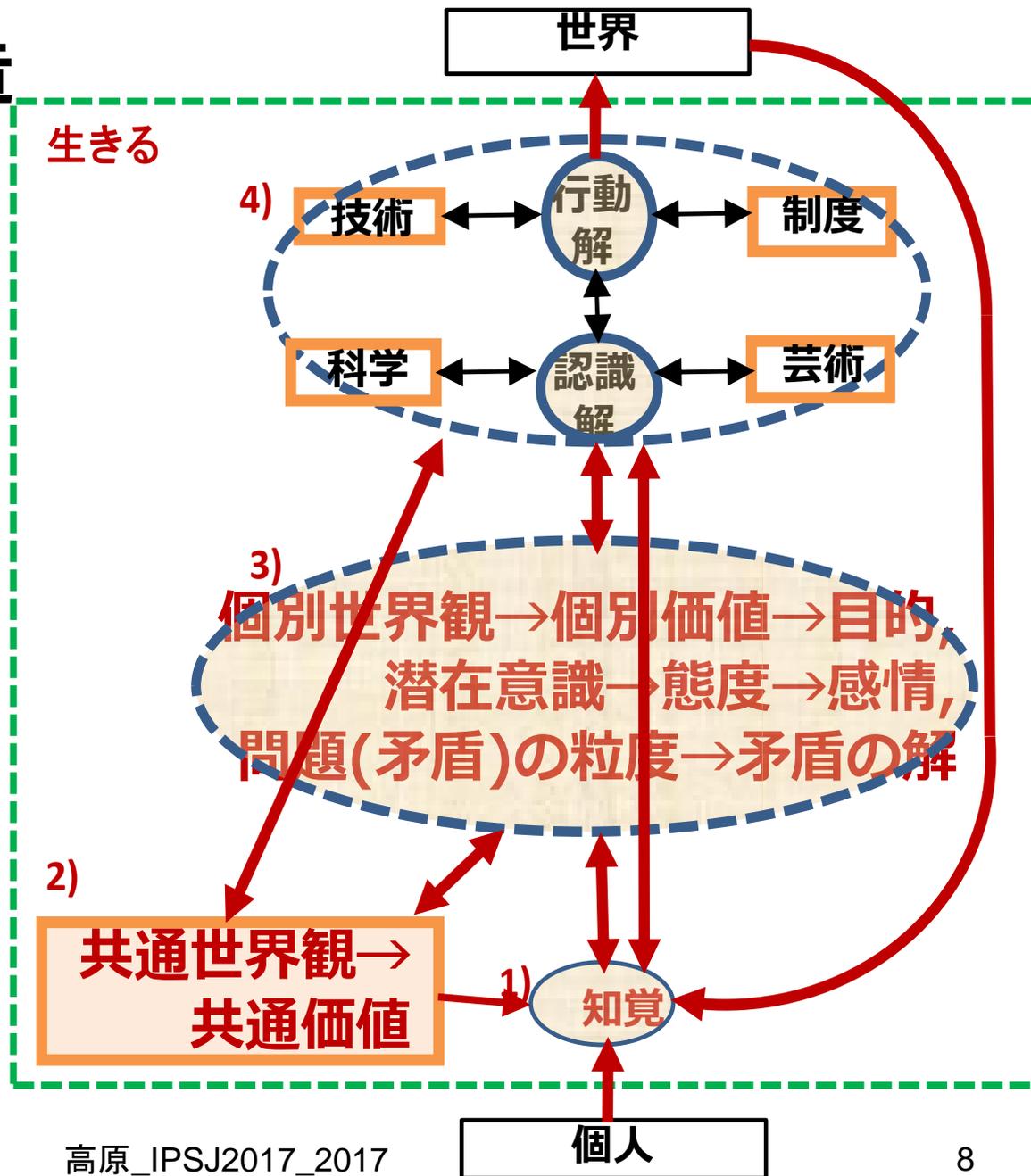
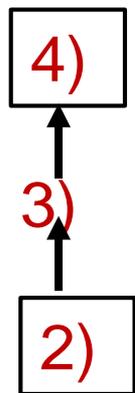
単純性とエネルギー基準の  
今の人類の生きる構造モデル



# 3. 例1: 生きる構造 の現状

## 4,5千年前からの 人の生きるモデル

[FIT2016を変更  
:2)の潜在意識、感情を3)に移動]



### 3. 例1: 生きる構造の運用の歴史

2)(世界観—価値(観))— 3)(態度—感情—粒度)— 4)

4)	操作	認識
対象化手段	技術	科学
一体化手段	制度	芸術

農業革命では、太陽エネルギーを**対象化**し利用した。

産業革命では、化石エネルギーを**対象化**し利用した。

農業革命とともに始まった時代は、自然と神への**一体化**世界観の誕生とともに進んでいく。しかし一体化世界観は十分に実現できなかった。対象化と一体化が登場してからの歴史を扱う。cf. p.5

産業革命、資本主義とともに始まった時代は、一体化が不十分かつ有限なエネルギーの下で、不十分な**対象化**世界観が進行

### 3. 例1: 生きる構造の運用の歴史総括

価値実現のために高度さと、全ての人々が解くための単純さの両立矛盾＝最大価値実現とエネルギー最小での実現の両立矛盾の解が必要だった。

解は、  
・2)3)4)三段階の時間的直列構造体による媒介と  
・各層で統一された一体化と対象化の一体型矛盾の同時成立[FIT2016]

この矛盾解決が始まったのは、4,5千年前に法などの制度ができて以降。対象化、一体化はまだ不十分

## 4. 例1: 生きる構造の変更の課題

高度化が、何かを行うことの、その前の準備と、その後の実現に時間的に媒介される三段階による、時間的直列構造の普遍性？

各段階の中の一体化と対象化の完成

cf. 中川徹『「自由」vs「愛」: 人類文化を貫く未解決の「主要矛盾」(2017. 1.13)』

<http://www.osaka-gu.ac.jp/php/nakagawa/TRIZ/jpapers/2017Papers/Naka-LibertyLove-YMCA/Naka-LibertyLove-YMCA-170102.html>

**大きな重要な問題は、単純な構造とその中の一体化と対象化(愛と自由の一体型矛盾)が解くという仮説を立てる**

将来、十分なエネルギーが得られるようになると、新しい原理ができるか？それまでに一体化を双方向にしておきたい

## 5. 例2: 人工知能を作ること

(知覚)、(共通世界観、共通価値認識)、(個別世界観、個別価値認識、目的、態度)、(問題定式化(オブジェクトの粒度の網羅、矛盾の粒度特定)、矛盾を解く)、(行動):p.8

人がこの全てを把握することにより、人工知能はいずれ全てを対象化でき定式化できるようになる。

その場合も世界観、価値、目的は人が決めるのがよい。  
オブジェクト粒度特定、矛盾を解く方法は[FIT2015] [THPJ201501,02]

この対象化のための一体化の課題は不明。人との分担も課題

謝辞 大阪学院大学名誉教授中川徹博士に  
深く感謝を申し上げる